



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 カシオ計算機株式会社

コード番号 6952 URL <http://casio.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 榎尾 和雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務・IR担当 (氏名) 高木 明徳

TEL 03-5334-4852

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	144,516	△3.8	8,066	155.0	7,317	196.7	4,357	380.3
24年3月期第2四半期	150,202	△14.8	3,163	△40.0	2,466	△51.4	907	△64.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,226百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △2,679百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	16.21	16.20
24年3月期第2四半期	3.37	3.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	345,648	146,909	42.4
24年3月期	366,212	149,254	40.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 146,681百万円 24年3月期 149,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	17.00	17.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	6.1	20,000	120.6	17,000	143.6	10,000	291.2	37.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) ー 、 除外 一社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	279,020,914 株	24年3月期	279,020,914 株
25年3月期2Q	10,169,245 株	24年3月期	10,167,943 株
25年3月期2Q	268,852,427 株	24年3月期2Q	268,855,181 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 2.平成25年3月期の配当予想額につきましては、今後の事業環境等を見極める必要があり、現時点では未定とさせていただきます。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。
- 3.決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当上半期における内外経済は、欧州危機の長期化、中国の景気減速、長引く円高など引き続き不透明なまま推移しました。

この環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、コンシューマは1,070億円となりました。時計は「G-SHOCK」、「Baby-G」、「EDIFICE」といったブランドが、北米やアジアなどの海外で好調に推移し増収となりました。また、女性向けメタルアナログウォッチ「SHEEN」が国内外で売上を拡大しました。電子辞書は「エクスワード」シリーズの販売が堅調に推移し、引き続き、国内でナンバーワンシェアを維持しました。システムは210億円、その他は163億円となりました。

損益につきましては、コンシューマは110億円の営業利益となりました。時計や電子辞書は引き続き高収益性を維持し、デジタルカメラも改善しました。システムは3億円の営業損失、その他は1億円の営業損失となりました。この結果、調整後の連結合計として営業利益80億円、経常利益73億円、四半期純利益43億円の大幅な増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権の減少等による圧縮の結果、前連結会計年度末比205億円減少の3,456億円となりました。純資産はその他有価証券評価差額金の減少および円高の影響による為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末比23億円減少の1,469億円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.7ポイント増の42.4%に改善されました。

キャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは15億円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローは99億円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは48億円の支出となり、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比167億円減少の840億円となりました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的且つ強靱な財務体質の構築に取り組みます。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点での平成25年3月期の連結業績予想につきましては、前回予想（平成24年5月11日公表）に対して変更はありません。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を活かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組みます。

(注) 業績見通しについて

①為替水準は1US\$=80円、1ユーロ=100円を想定しております。

②業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更が損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,128	47,673
受取手形及び売掛金	57,923	46,122
有価証券	49,861	44,594
製品	29,358	34,213
仕掛品	5,955	5,751
原材料及び貯蔵品	10,276	8,031
その他	38,066	40,915
貸倒引当金	△545	△559
流動資産合計	244,022	226,740
固定資産		
有形固定資産		
土地	37,487	37,142
その他(純額)	24,922	26,629
有形固定資産合計	62,409	63,771
無形固定資産		
投資その他の資産	5,942	5,918
投資有価証券	33,150	26,016
その他	20,706	23,227
貸倒引当金	△17	△24
投資その他の資産合計	53,839	49,219
固定資産合計	122,190	118,908
資産合計	366,212	345,648

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,682	31,828
短期借入金	3,817	3,646
未払法人税等	1,914	2,179
製品保証引当金	840	840
その他	35,332	37,147
流動負債合計	91,585	75,640
固定負債		
社債	30,710	30,212
新株予約権付社債	250	250
長期借入金	77,457	77,069
退職給付引当金	11,295	2,408
役員退職慰労引当金	1,842	1,845
その他	3,819	11,315
固定負債合計	125,373	123,099
負債合計	216,958	198,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,703	65,703
利益剰余金	55,218	55,004
自己株式	△8,590	△8,590
株主資本合計	160,923	160,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	490	△354
繰延ヘッジ損益	△238	△190
為替換算調整勘定	△12,170	△13,484
その他の包括利益累計額合計	△11,918	△14,028
少数株主持分	249	228
純資産合計	149,254	146,909
負債純資産合計	366,212	345,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	150,202	144,516
売上原価	97,854	89,537
売上総利益	52,348	54,979
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	15,434	15,519
その他	33,751	31,394
販売費及び一般管理費合計	49,185	46,913
営業利益	3,163	8,066
営業外収益		
受取利息	461	312
受取配当金	227	167
その他	332	226
営業外収益合計	1,020	705
営業外費用		
支払利息	496	579
為替差損	844	541
その他	377	334
営業外費用合計	1,717	1,454
経常利益	2,466	7,317
特別利益		
投資有価証券売却益	133	—
受取保険金	—	223
退職給付制度改定益	—	385
その他	2	11
特別利益合計	135	619
特別損失		
減損損失	515	322
投資有価証券評価損	269	861
事業譲渡損	1,640	—
関係会社整理損	2,565	—
その他	1,417	56
特別損失合計	6,406	1,239
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,805	6,697
法人税等	△4,739	2,365
少数株主損益調整前四半期純利益	934	4,332
少数株主利益又は少数株主損失(△)	27	△25
四半期純利益	907	4,357

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	934	4,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,442	△844
繰延ヘッジ損益	△1	48
為替換算調整勘定	△2,136	△1,310
持分法適用会社に対する持分相当額	△34	△0
その他の包括利益合計	△3,613	△2,106
四半期包括利益	△2,679	2,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,706	2,247
少数株主に係る四半期包括利益	27	△21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,805	6,697
減価償却費	4,883	3,792
減損損失	515	322
固定資産除売却損益(△は益)	76	39
投資有価証券売却損益(△は益)	△133	—
投資有価証券評価損益(△は益)	269	861
退職給付引当金の増減額(△は減少)	683	△8,817
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△973	3
受取利息及び受取配当金	△688	△479
支払利息	496	579
為替差損益(△は益)	△151	△1,532
売上債権の増減額(△は増加)	9,705	11,002
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,525	△3,127
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,309	△17,589
その他	7,542	8,438
小計	3,585	189
利息及び配当金の受取額	841	450
利息の支払額	△494	△468
法人税等の支払額	△2,220	△1,711
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,712	△1,540
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△943	△909
定期預金の払戻による収入	1,541	611
有形固定資産の取得による支出	△3,085	△3,486
有形固定資産の売却による収入	6	13
無形固定資産の取得による支出	△1,652	△1,561
投資有価証券の取得による支出	△6,343	△6,794
投資有価証券の売却及び償還による収入	12,240	2,255
その他	118	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,882	△9,930
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,563	35
自己株式の取得による支出	△1	△1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△406	△349
配当金の支払額	△4,571	△4,571
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,541	△4,886
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,268	△345
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,215	△16,701
現金及び現金同等物の期首残高	117,119	100,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	112,904	84,009

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	105,737	21,102	23,363	150,202	—	150,202
(2) セグメント間の内部 売上高	2	413	2,844	3,259	△3,259	—
計	105,739	21,515	26,207	153,461	△3,259	150,202
セグメント利益 又は損失(△)	5,890	△1,127	158	4,921	△1,758	3,163

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,758百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,758百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	107,098	21,049	16,369	144,516	—	144,516
(2) セグメント間の内部 売上高	1	56	1,510	1,567	△1,567	—
計	107,099	21,105	17,879	146,083	△1,567	144,516
セグメント利益 又は損失(△)	11,006	△353	△106	10,547	△2,481	8,066

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,481百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,481百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。